

ベストセラー「世界がもし 100 人の村だったら」著者が語る

安房がもし

100 人の村だったら

～わたしたちの憲法が見えてくる～

講師：池田 香代子 さん



《開催日》：2013 年 6 月 29 日(土)

13:30～16:30

《会場》：館山商工会議所会館ホール

《参加費》 300円(高校生以下無料)



【一部】

13:30 講演会 講師：池田香代子

【二部】

15:00～16:15

パネルディスカッション

『私たちの憲法について語ろう』

[パネリスト]

山口 マオ

(イラストレーター・版画家)

本明 明香

(「モンサントの不自然な食べもの」

あわ上映委員会代表)

田中 房江

(第 19 回母親大会実行委員会委員長)

美術家、2児の母、戦争体験者である地元在住の3名のそれぞれの立場から、憲法に対して日頃から思う事や、感じていることを話し合います。

母親大会とは、「生命の生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることを望みます」をスローガンとする話し合いの広場です。(性別は、問いません)

今年は、「世界がもし100人の村だったら」「やさしいことばで日本国憲法」の著者であり「世界平和アピール七人委員会」メンバーでもある池田香代子さんをお招きしました。

憲法について、共に考える機会となればと思います。

保育付

- 要予約
- 先着 20 名まで
- 保険料：100円
- 対象：1歳～未就学児まで

乳児は、場内へ入場できます。

申込みは、

下記の問合せ先まで

【主催】：第 19 回安房地域母親大会実行委員会

《構成団体》 国連NGO新日本婦人の会館山支部 国連NGO新日本婦人の会鴨川支部
安房連協安房地区女性連絡会 全日本年金者組合安房支部
NPO法人安房文化遺産フォーラム

【後援】 館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町、各教育委員会、房日新聞

《問合せ先》 0470-27-5867 (齊藤) 0470-28-3711 (関)

《チケット取扱店》 宮沢書店本店 鴨川書店



【講師プロフィール】 池田 香代子(いけだ かよこ)

ドイツ文学翻訳家・作家。2001年9月11日、アメリカ同時多発テロ事件を機に、『世界がもし100人の村だったら』を出版し、人々の“平和を願う”意識を呼び起こし、世界中で読まれ130万部のベストセラーとなる。その印税で「100人村基金」を立ち上げ、NGOや日本国内の難民申請者の支援を行なっている。

1955年に核兵器廃絶と世界平和の構築を目指して発足された「世界平和アピール七人委員会」のメンバー。「国連持続可能な開発のための教育10年」推進会議顧問。著書『やさしいことばで日本国憲法』『11の約束-えほん教育基本法』ほか多数。

パネリスト紹介

山口 マオ(ヤマグチ マオ)

千倉町在住。「マオ猫」と呼ばれる、直立二足歩行の猫の絵で知られるイラストレーター。

「戦争ホーキの会」グッズの9cmのホーキ(箸)についているカードには、マオ猫が「NO WAR」と書いたホーキを掲げており「戦争ホーキ」「殺さないで」とも書かれている。

「憲法は、かっこいい」と新訳の日本国憲法として発表した作家の池澤夏樹著『憲法なんて知らないよ』にイラストを描いている。

本明 明香(ホンミョウ アキカ)

1年半前、館山へ移住。2児の母。子育てに関する情報を満載した冊子『あわぼおんマップ』の制作にかかわる。

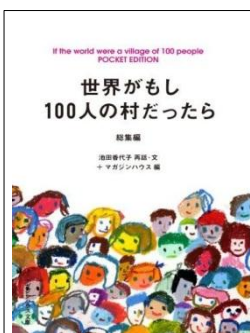
映画『モンサントの不自然な食べもの』あわ上映委員会の代表。その上映を通じて、命につながる食の子どもたちへの影響、環境、農業を一層考えるようになった。気持ちを同じにする仲間たちと共にいろいろと発信をしていきたいと準備中。

田中 房江(タナカ フサエ)

1933年、東京生まれ。小2で太平洋戦争開始。小4で栃木県塩原温泉へ学童疎開経験をする。

30年間、農林水産省の研究機関で肥料が環境に与える影響を中心に研究。退職後鴨川へ移住。

1955年、東京で開催の第1回日本母親大会に参加。それ以降現在まで60年近く母親運動に関わって来た。



『世界がもし100人の村だったら』

全世界の人口を100人の村に縮小することで見えてくるもの。それは、52人の女性に48人の男性。30人の子どもに70人の大人。すべての富の59%を6人が所有し、17人は清潔で安全な水が飲めない。これはEメールで広がった現代の民話。どんな社会科の教科書よりも世界が見えてくる。



『やさしいことばで日本国憲法』 第13条

すべての人びとは、個人として尊重されます。法律をつくったり、政策をおこなうときには、社会全体の利益をそこなわないかぎり、生きる権利、自由である権利、幸せを追いもとめる権利が、まっさきに尊重されなければなりません。

房州弁 第13条

おらが国ではよお、ひとりひとりを大事にしなっきゃおいねえだよ。お互いに、自由に生きて、幸せになることを、じゃましてはなんねえ。そのために、みんなでお話し合っ、みんなにとって一番いいきまりをきめることが大切なんだっぺ。